

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ: 次回発信日は6月2日週報(予定)

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《～家庭内消費は依然低調～業務用需要は回復の期待も～》

- ・5/16週の牛乳類の家庭内消費については、前週(5/9週)よりもわずかに減少した。前年比でも90%前半となっており、依然として低調な推移となっている。例年GW以降、気温の上昇に伴い徐々に需要は増加基調となるが、今年度は現時点でその傾向は見られない。
- ・ヨーグルト類については前週よりもドリンク・個食タイプは増加、大容量タイプは減少した。特にドリンクタイプは今年度初めて前年比90%を超える水準となった。
- ・東京・大阪等の都市部では23日以降、新型コロナウイルスによる飲食店の人数制限を解除した。また、6月には都民向けの旅行補助事業が再開予定となっていることや外国人観光客の受け入れを再開するとの報道があり、業務用需要の回復が期待される。一方で、生活必需品や食料品等の物価高は引き続き家庭内消費へ影響を及ぼすことが懸念される。
- ・家庭内消費は依然として厳しい販売状況が継続し、今週から6月上旬にかけては季節的に北海道の生乳生産量がピークを迎えるため、乳製品向けの処理は予断を許さない状況が続くと想定される。牛乳類を中心とした家庭内の需要喚起に最大限取り組むとともに、業界全体で連携した需給調整を実施することが不可欠である。

【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】

(1) 直近動向(表①参照)

・直近(5/16週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳: 同92.8%、成分調整牛乳: 同93.7%、加工乳: 同96.4%、乳飲料: 同92.9%。

牛乳類トータルでは同92.9%

※参考: 2020年度比は、牛乳: 84.6%、成分調整牛乳: 84.6%、加工乳: 85.7%、乳飲料: 81.1%(牛乳類トータル: 84.1%)

※参考: 2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は94.8%。

・販売単価は、牛乳: 189.6円、成分調整牛乳: 174.0円、加工乳: 189.5円、乳飲料: 149.6円。

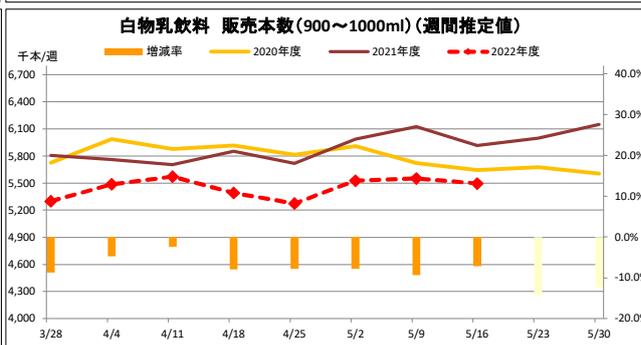
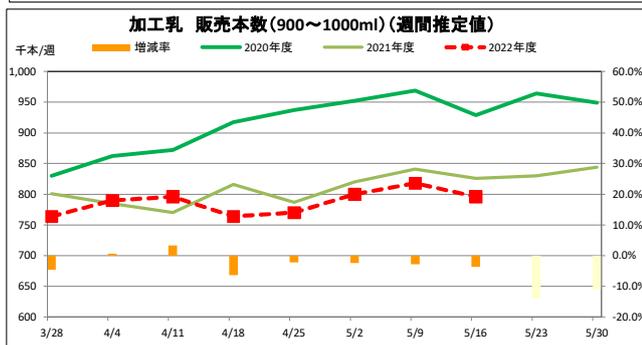
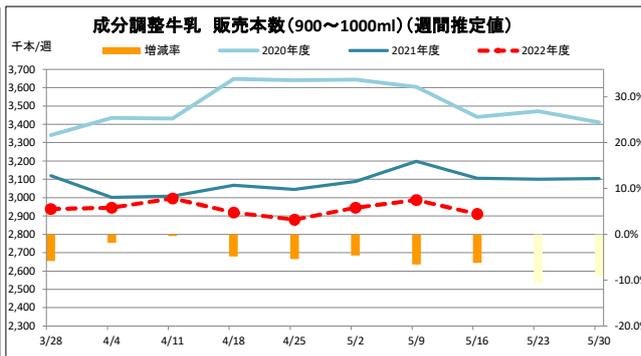
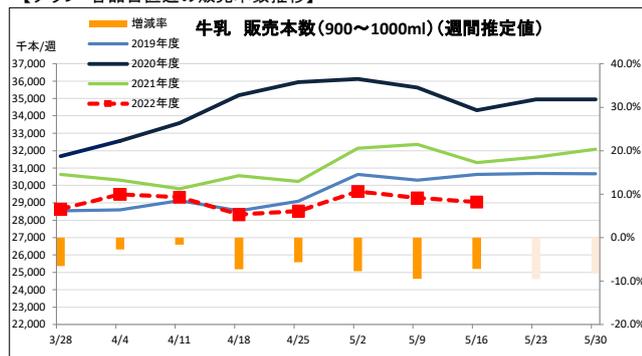
※出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位: 千個、円)

品目	区分	3.28-	4.4-	4.11-	4.18-	4.25-	5.2-	5.9-	5.16-
		販売個数	37,641	38,712	38,688	37,403	37,448	38,928	38,641
トータル	販売個数前年比	93.2	97.1	98.5	92.8	94.1	92.6	90.9	92.9
	販売単価	182.7	182.9	182.9	182.9	183.1	183.2	182.6	182.7
	販売個数	28,639	29,492	29,325	28,330	28,523	29,657	29,285	29,046
牛乳	販売個数前年比	93.5	97.3	98.4	92.7	94.3	92.3	90.5	92.8
	販売単価	189.6	189.7	189.9	189.9	190.0	190.0	189.7	189.6
	販売個数	2,938	2,945	2,996	2,919	2,880	2,945	2,987	2,911
成分調整牛乳	販売個数前年比	94.2	98.1	99.6	95.1	94.6	95.4	93.4	93.7
	販売単価	172.4	173.8	173.4	173.4	173.2	173.9	173.3	174.0
	販売個数	764	790	796	764	770	800	818	796
加工乳	販売個数前年比	95.3	100.6	103.4	93.5	97.9	97.5	97.2	96.4
	販売単価	190.1	191.0	190.9	191.1	190.1	190.5	189.1	189.5
	販売個数	5,300	5,485	5,571	5,391	5,274	5,526	5,551	5,495
乳飲料	販売個数前年比	91.3	95.2	97.7	92.1	92.3	92.3	90.7	92.9
	販売単価	150.2	150.0	149.9	149.7	150.2	150.5	149.4	149.6

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(5/16週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)全カテゴリ通じて前年比90%を超える水準となり、特にドリンクタイプは今年度初めて90%を超えた。

販売個数は前週(5/9週)よりもドリンク、個食タイプは増加、大容量タイプは減少した。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	3.28-	4.4-	4.11-	4.18-	4.25-	5.2-	5.9-	5.16-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	⇒
個食タイプ	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
大容量タイプ	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	↓	⇒	⇒



:前年比90%未満



:前年比105%以上110%未満



:前年比90%以上100%未満



:前年比110%以上120%未満



:前年比100%以上105%未満



:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。